取扱説明書 保証書付

床下冷暖房システム

CC-FMTZ452AS

このたびは CCF STYLE 床下冷暖房システムをご採用いただきまして,まことにありがとうございます。

ご使用の前に,この取扱説明書をよくお読みの上,正しく安全にお使いください。

目次

1．　お使いになる前に

1）　安全のために必ず守ること（必ずお読みください）

■取扱いが誤ったときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ “図記号”の意味は下のとおりです。

禁止	ぬれ手禁止	水ぬれ禁止
指示を守る	アース接続	

警告

	コード類は、束ねたり、引っ張ったり、重い物を載せたり、ネジなどで傷つけたり、加熱したり、加工したりしない 感電や発熱・火災の原因になります。
	吸込口に指や棒などを入れない 内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります
	お客さま自身で据付け・修理・移設・電源コード交換はしない **CCF STYLE 登録店または株式会社駒匠に依頼する** 不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。
	異常時（焦げ臭いなど）は、運転を停止してブレーカーを切る 異常のまま運転を続けると故意や感電・火災などの原因になります。 CCF STYLE 登録店または株式会社駒匠に相談してください。
	お客さま自身で分解・改造・修理・移動再設置をしない 火災・感電・ケガ・水漏れの原因になります。
	移動再設置・修理する場合は、CCF STYLE 登録店または株式会社駒匠に相談する 不備があると、感電や火災などの原因になります。

	CCF STYLE が冷えない・暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、本システムを施工した CCF STYLE 登録店に相談する **冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容を CCF STYLE 登録店に確認する** CCF STYLE に使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。
	室内機内部の洗浄はお客さま自身では行わず、必ず本システムを施工した CCF STYLE 登録店または株式会社駒匠に相談する 誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になります。 また、洗浄剤が電気品やモータにかかると故意や発煙・発火の原因になります。

注意

	ぬれた手でスイッチを操作しない 感電の原因になることがあります。
	燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する 換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。
	長期使用で傷んだままの据付台などで使用しない ユニットの落下につながりケガなどの原因になることがあります。
	水洗いしない 感電や発火の原因になることがあります。
	掃除のときは運転を停止し、ブレーカーを切る 運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。
	CCF マルチシステムの場合、冷房・除湿運転直後に、他の室内機を暖房しない 室内機に露がつきます。
	室内外機の下に他の電気製品や家財などを置かない 水が滴下する場合があり、汚損や故障の原因になることがあります。
	殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない 火災・変形の原因になることがあります。
	室外機の上に乗ったり、物を載せたりしない 落下・転倒にケガの原因になることがあります。
	雷が鳴り落雷のおそれがあるときは運転を停止し、ブレーカーを切る 被雷すると、故障の原因になることがあります。
	窓や戸の開けっぱなしなど、高温(８０%以上)で長時間運転はしない 室内機に露がつき、滴下して家財などをぬらし、汚損の原因になることがあります。
	CCF STYLE を数シーズン使用した場合は、通常のお手入れとは別に点検整備を行う 室内機の内部にゴミやほこりがたまって、においが発生したり、除湿水の排水経路を詰まらせ、室内機からの水漏れの原因になることがあります。 点検整備には専門の知識と技術が必要です。CCF STYLE 登録店に依頼してください。

据付時のご注意

警告

	据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する 据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
	電源は必ずCCF STYLE専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する 専門以外のコンセントを使用すると、発熱・火災の原因になります。
	可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない 万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、爆発の原因になります。
	アース（設置）を確実に行う アース線は、ガス管・水道管：避雷針・電話のアース線に接続しないでください。 アース線が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。
	漏電しゃ断器を取付ける 漏電しゃ断器が取付けられていないと、火災・感電の原因になります。
	ＨＦＣ冷媒（Ｒ４１０Ａ）以外の冷媒は使用しない 故障や破裂などの重大事故の原因になります。

注意

	ドレン水を確実に排水できるようにする 排水経路に不備があると、室内外機から水が滴下して家財などをぬらし、汚損の原因になることがあります。

異常や不具合が発生したとき

ただちに運転停止し、ブレーカを切ってから「CCF STYLE 登録店」または「株式会社駒匠」まで点検・修理をご相談ください。

２）　各部のなまえ

室内機

室内機は床上に据付けられます。

室外機

リモコン

液晶表示部（バックライト付）

運転内容を表示します。
バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

<u>バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。</u>
<u>バックライトのみ点灯します。</u>
<u>（運転/停止ボタンは除く）</u>

運転ランプ

運転中、緑色に点灯します。
立上げ時・異常時は点滅します。

メニューボタン

メインメニューを表示します。
メインメニュー画面表示時は
メイン画面に戻ります。

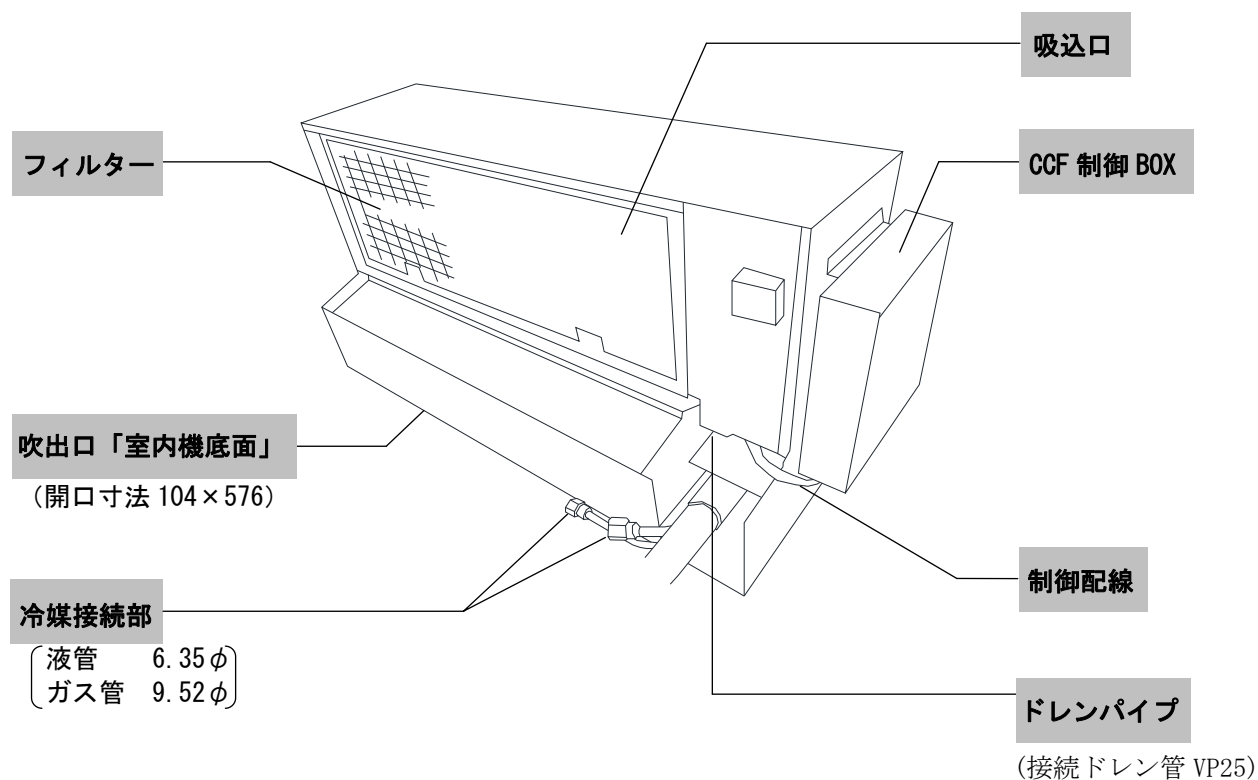
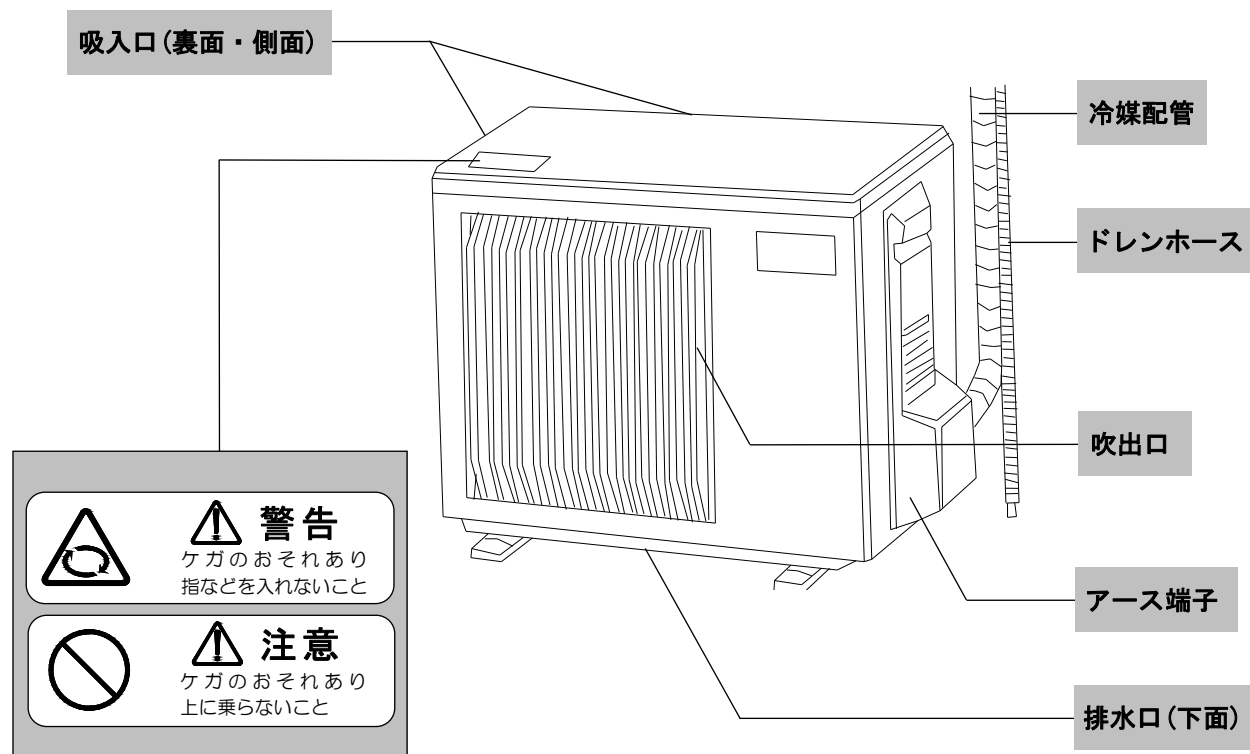
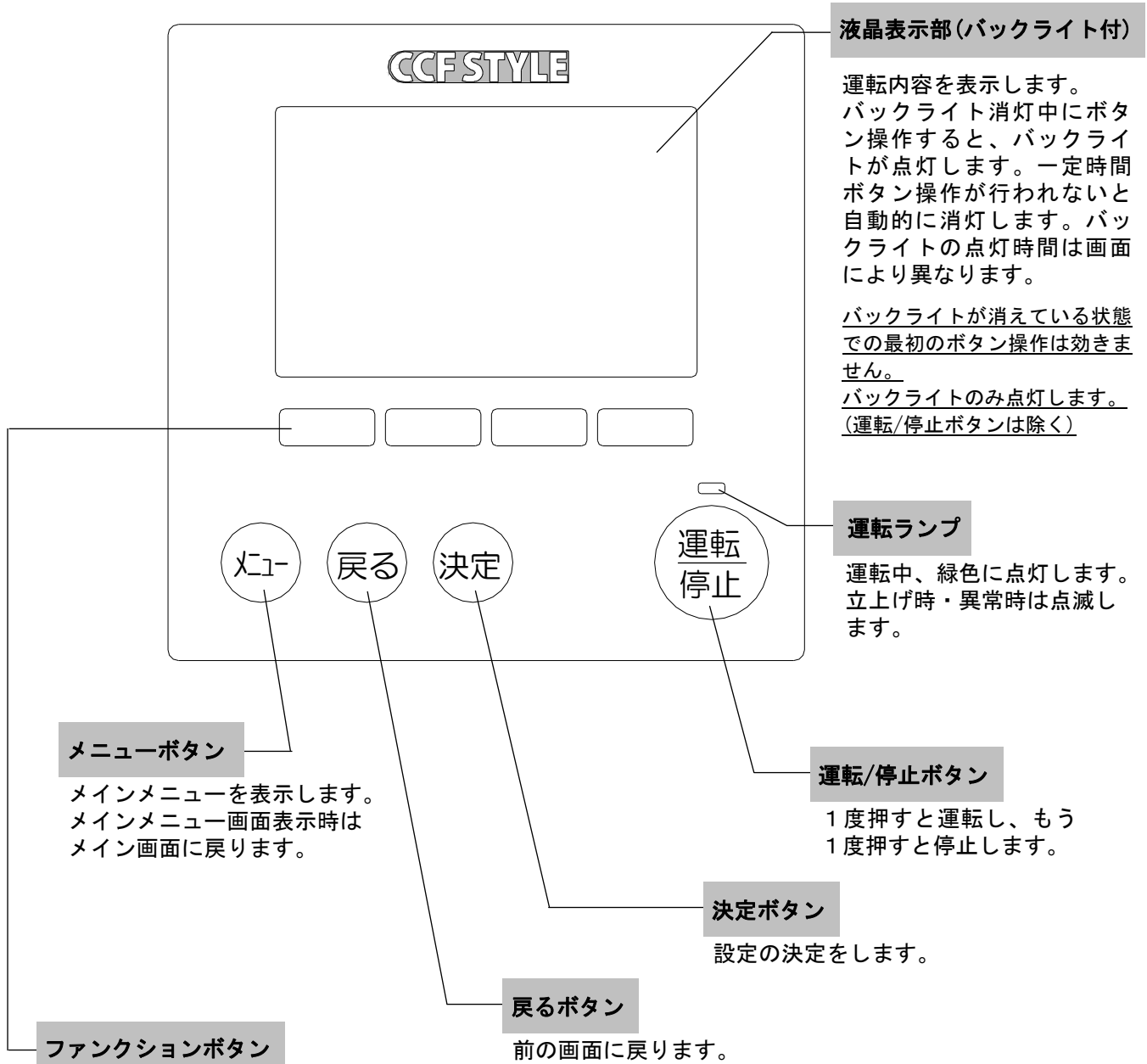
運転/停止ボタン

１度押すと運転し、もう
１度押すと停止します。

決定ボタン

設定の決定をします。

戻るボタン

前の画面に戻ります。

ファンクションボタン

操作する画面によって動作が変わります。

Ｆ１
メイン画面：運転モードを切換えます。
<u>メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。</u>

Ｆ２
メイン画面：設定温度を下げます。
<u>メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。</u>

Ｆ３
メイン画面：設定温度を上げます。
<u>メインメニュー画面：前のページを表示します。</u>

Ｆ４
メイン画面：風速を切換えます。
<u>メインメニュー画面：次のページを表示します。</u>

※詳しくは、ＭＡスマートリモコン（ＰＡＲ－３３ＭＡ）付属の取扱説明書をお読みください。

暖房快適スイッチ

暖房運転使用時、暖房快適スイッチを「入」にすることで、より一層床暖房効果の持続が得られます。
冷房／ドライ運転使用時は、暖房快適スイッチは「入」にしないで下さい。ダクト配管内部などで結露のおそれがあります。

CCF STYLE
暖房快適スイッチ

National

暖房快適表示ランプ

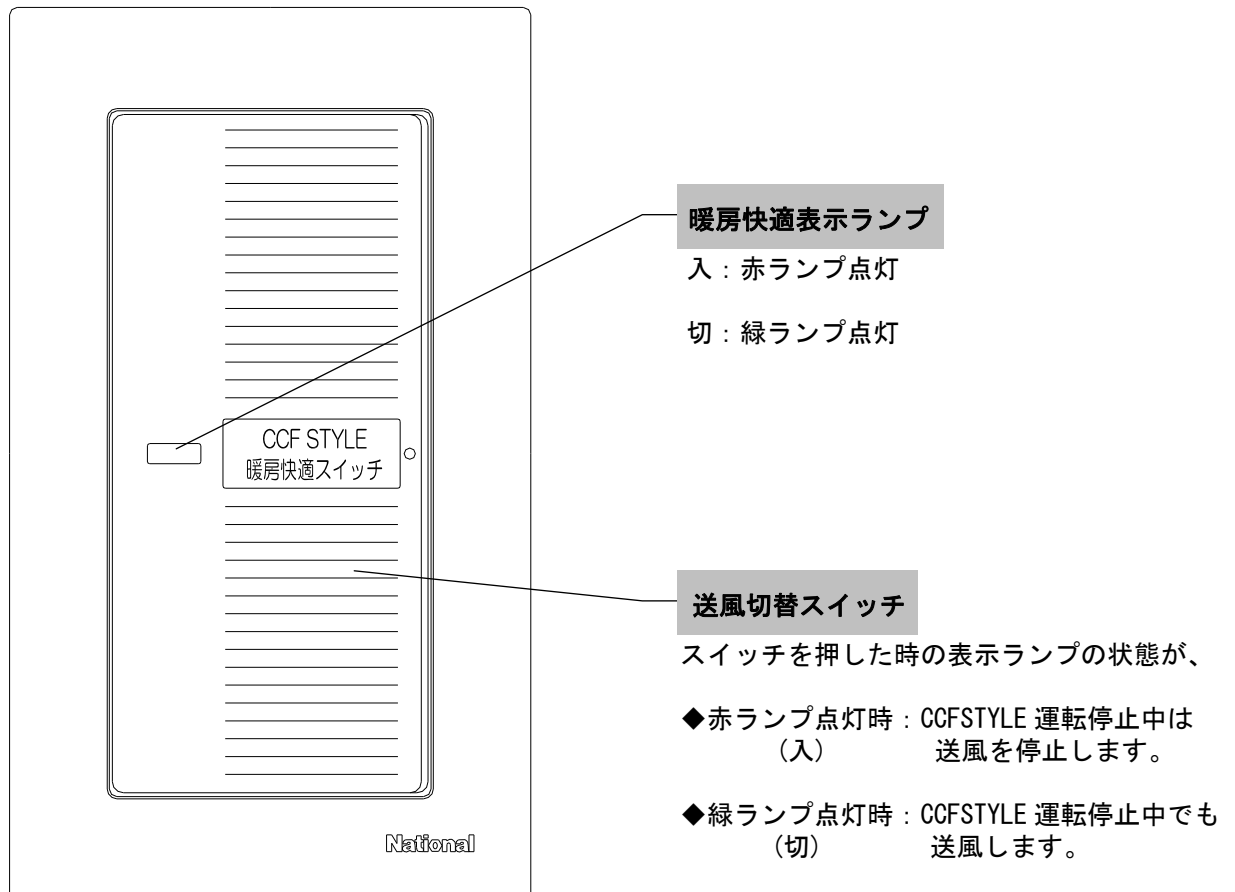
入：赤ランプ点灯

切：緑ランプ点灯

送風切替スイッチ

スイッチを押した時の表示ランプの状態が、

◆赤ランプ点灯時（入）：CCFSTYLE 運転停止中は送風を停止します。

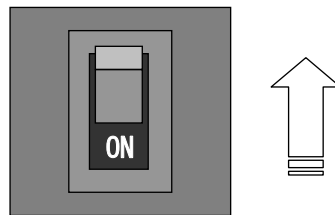
◆緑ランプ点灯時（切）：CCFSTYLE 運転停止中でも送風します。

CCF STYLE 暖房快適スイッチは、

◆暖房運転時は、「入」（赤色ランプ点灯）をお勧めします。

◆<u>冷房／ドライ運転使用時は、必ず「切」（緑色ランプ点灯）にしてください。（ダクト配管内部などで結露のおそれがあります）</u>

３）　運転前の準備

室内機・室外機とも

ブレーカーを入にする。

２．　運転のしかた

１）　通常の運転（冷房・ドライ・暖房）

運転内容を選び、冷房・ドライ・自動・暖房は温度調節できます。

冷暖房・ドライ運転のしかた

① **開始**　**運転/停止ボタンを押す。**

② **設定**　**Ｆ１ボタン（６ページ、リモコン図参照）を押して、運転の内容を選ぶ。**

１回押すごとに「冷房」→「ドライ」→「送風」→「自動」→「暖房」の順に運転内容が変わります。
おこのみに合わせて風速を調整してください（次ページ）。

③ **調節**　**温度を変えたいとき**

■温度を上げたいときはＦ３ボタン（６ページ、リモコン図参照）を押す。
　１回押すごとに１℃ずつ上がります。
■温度を下げたいときはＦ２ボタン（６ページ、リモコン図参照）を押す。
　１回押すごとに１℃ずつ下がります。
設定温度範囲は１７℃～３０℃です。

省エネ推奨温度	冷房　２８℃以上
	暖房　２０℃以下

④ **停止**　**運転/停止ボタンを押す。**

一度セットすると次からは運転/停止ボタンを押すだけで、同じ内容の運転ができます。

冷暖房運転が停止中でも室内の空気循環をしています

■本器は冷暖房運転が停止中でも、一定の風量で室内の空気が循環するように設計されています。ただし、暖房快適スイッチが接続されている場合は、暖房快適スイッチを「入」（赤色ランプ点灯）にすると、運転停止中の室内空気循環が止まります。
暖房快適スイッチが接続されていない場合は、運転停止中も室内空気循環のための送風は止まりません。
なお、冷房またはドライ運転使用時は、暖房快適スイッチは必ず「切」にしてご使用ください。

暖房運転が定期的に止まる

■気温が低いときに暖房運転をすると、室外熱交換器に霜が付き暖房能力が低下します。このようなときは、自動で定期的に暖房運転が止まり、霜取り運転を行います。
また、霜取りにより融け出した水が室外機の外に流れ出したり、湯気が白煙のように見えることがありますが、異常ではありません。

２）　風速の調節

風速をお好みに合わせて選べます。

風速を調整したいとき

風速調節はＦ４ボタン（６ページ、リモコン図参照）を押す。
１回押すごとに自動→(静）→(弱）→(強)の順に変わります。
風速自動は設定温度と室温の差が大きいと風速を強め、差が小さくなると徐々に風速を弱め、静かな運転になります。
風速(静)は室内外機の運転を低く抑えます。
(通常運転よりも能力が低くなります)

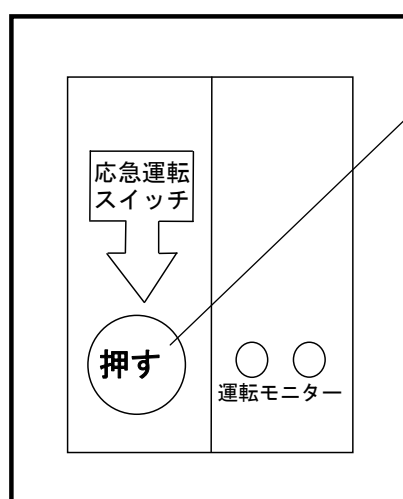
冷え、暖まりが悪い

■冷房・暖房で風速を(静)で運転している場合、冷えや暖まりが悪いことがあります。このような場合は風速を(弱)または(強)に変更してください。

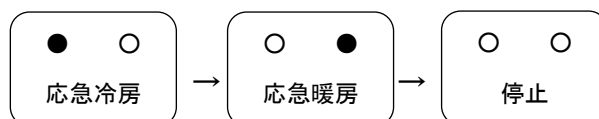
３． 上手な使いかた

１） リモコンが使えないとき

応急運転

リモコンが故障したときには、CCF 室内機の応急運転スイッチを使って応急運転ができます。
※応急運転スイッチは制御盤に付随しています。

応急運転するとき

応急運転スイッチを押す。

１回押すごとに応急冷房→応急暖房→停止の順に変わります。
室内機の運転モニターランプを用いて運転内容を表示します。

○消灯　●点灯

停止するときは応急運転スイッチを押して「停止」にする。

運転内容は右のようになります。
ただし、最初の約３０分間は温度調節がはたらかず連続運転になり、風速は(強)になります。

運転内容	冷房	暖房
設定温度	２４℃	２４℃
風速	(弱)	(弱)

４． CCF STYLE マルチシステムについて

１） CCF STYLE マルシステムとは

CCF STYLE マルチシステムは、複数台の CCF 室内機とエアコンを１台の室外機に接続して運転できるシステムです。組み合わせた CCF 室内機とエアコンは、すべて同時運転可能です。
ただし、１台の室内機で冷房・除湿運転、他の室内機で暖房運転という使い方はできません。

同時運転について

●CCF 室内機とエアコンを同時に運転するときは、室外機の能力範囲内で運転するため、室内機１台あたりの能力は１台運転するときよりも低下する場合があります。

●お部屋があまり冷えない、または暖まらないときは、室外機の能力範囲内で運転を行ってください。

●同時運転するときの能力については、室外機に同梱している「ハウジングエアコンマルチ仕様表」を参照してください。

ご使用上の注意　(CCF 室内機およびエアコンを複数台接続時)

気をつけましょう。	どうして
１台の室内機で冷房運転、他の室内機で暖房運転という使い方はできません。	■最初に運転した室内機の運転が優先されるため、あとから運転を始めようとした室内機は運転を始めません。
冷房・除湿運転終了後に、他の室内機で暖房運転をする場合は、冷房・除湿運転をしていた室内機を設定温度１７℃の暖房にして３０分程度運転を行ってください。	■冷房・除湿運転をしていた室内機に露がつく可能性があります。

故障かな？と思ったら　(CCF 室内機およびエアコンを複数台接続時)

故障かな？	お答えします。(故障ではありません)
暖房したときにすぐ風が出ない。	■十分に暖かな風をお届けするため準備中ですのでそのままお待ちください。 ■霜取運転中に新たに室内機の運転を開始しますと霜取運転中は待機し、霜取運転終了後に暖房運転を開始しますのでそのままお待ちください。
停止中の室内機からモーター音と水をかきまぜるような音がする。	■室内機内部にたまった除湿水を室外に排出するためです。自動的に停止しますので、そのままお待ちください。
停止中の室内機が暖かい。 停止中の室内機から水の流れるような音がする。	■停止中の室内機にも少しですが、冷媒を流しているためです。

こんなときは　(CCF 室内機およびエアコンを複数台接続時)

こんなときは	各室内機の運転内容を確認してください	お答えします
運転スイッチをＯＮにしても運転しない。	冷房・除湿運転と暖房運転とがある場合	■他の室内機と運転内容を合わせた後、いったん室内機を停止させてから再度運転を行ってください。

５． お手入れ

１） お手入れのページです（フィルター）

使い方ひとつで、CCF STYLE はパワフルな働き者になります。しかも省エネができるのです。

お手入れの前に

運転/停止ボタンを押し運転を停止して、ブレーカーを切ります。

室内機・リモコンの掃除

やわらかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・磨き粉の使用は製品をいためますのでご使用はおやめください。

フィルターの掃除（２週間に１度が目安）

① **フィルターを取り出します。**
フィルターの取っ手をつまみ、上にあげてから手前に引き出してください。

② **フィルターを掃除します。**
■掃除機でホコリを吸取るか、水洗いをしてください。
■汚れがひどいときは、中性洗剤をとかした、ぬるま湯ですすいでください。
■水洗いののち日陰でよく乾かしてください

③ **フィルターを取付けてください。**

ご注意

■フィルターは直射日光や直接火をあてて乾かさないでください。
■熱い湯（約５０℃以上）で洗うと変形することがあります。
■フィルターをこまめにお掃除してください。（推奨：２週間に１回程度）フィルターの目詰まりは冷暖房能力を低下させたり、異常音の原因となります。

６． 困ったときに

１） 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。こんなときは故障ではありません。

故障かな？		お答えします。（故障ではありません）
止まる	再運転にしても、３分間ほど動かない。	■３分たてば運転します。 室内機・室外機の保護のため止まっています。 そのままお待ちください。
	暖房運転中、１０分ほど運転が止まる。	■室外機についた霜をとかしています。（霜取運転） 長くて１０分で終了しますのでそのままお待ちください。（外気温度が低く、湿度が高いときに霜がつきます）

故障かな？		お答えします。（故障ではありません）
冷えない	よく冷えない	■換気扇やガスコンロを使用する部屋では、冷房負荷が大きくなり、冷えが悪い場合があります。 ■外気温が高いとき、冷えが悪い場合があります。
風	暖房運転にしたとき、すぐに風が吹出さない。	■十分に暖かな風をお届けするため準備中です。そのままお待ちください。
	吹出口からの風がにおう	■壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んだ匂いを吸込んで、風を吹出している可能性があります。室内機の掃除をおすすめします。 ■新築の場合、ご入居してからしばらくの間、床組として使用されている合板や木材の匂いを感じる場合がありますが、日数が経過すると徐々に匂わなくなります。
音	“ピシッ”という音がする。	■温度変化でパネルなどが膨張・収縮してこすれる音です。
	除湿運転・冷房運転中、室内機からモーター音と水をかきまぜるような音がする。	■除湿運転・冷房運転では室内機内部にたまった除湿水を室外へ排水するためのモーター音、排水音がします。
	水の流れるような音がする。	■室内機内部に冷媒が流れている音です。
	冷房・除湿運転停止時、室内機から“ゴボッ”という音がする。	■ドレン配管からドレン水がもどるためです。
	ときどき“ブシュ”という音がする。	■室内機内部の冷媒の流れが切換わるときの音です。

変色	室内熱交換器隅のアルミフィンが変色して焦げたようになっている。	■室内熱交換器製造時点で変色したものです。（溶接の熱でアルミフィン表面の樹脂コーティングが変色します）運転によるものではありません。また、熱交換器の性能にも影響はありません。
その他	室外機から水または水蒸気が出る。	■冷房時に、冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。 ■暖房時に、霜取り運転でとけた水または水蒸気が出るためです。 ■暖房時に、熱交換器についた水が滴下するためです。故障ではありませんが、濡れてお困りの場合はお買上げの販売店へ排水工事のご相談をお願いします。なお一部寒冷地では室外機氷結のおそれがあり、工事できない場合があります。

2） もう一度お確かめください

こんなとき	お確かめください。
動かない。	■ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか。
よく冷えない、暖まらない。	■温度の調節が適切になっていますか。 ■室外機の能力以上で室内機を複数台同時に運転していませんか。 ■フィルターが汚れていませんか。 ■室内機内部のファンが汚れていませんか。汚れている場合には、「CCF 登録店」にご相談ください。 ■室内外機の吹出口、吸入口、床吹出口をふさいでいませんか。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、「本システムを施工した CCF STYLE 登録店」または株式会社駒匠アフターサポート係にご相談ください。

運転モニターランプが点滅するとき、または以下のような場合には、運転を停止し、「本システムを施工した CCF STYLE 登録店」または株式会社駒匠アフターサポート係までご相談ください。

■室内機から水が漏れるとき。

■電波の弱い地域では、テレビ・ラジオなどにノイズが入る場合があります。
その場合は増幅器などの取付けをおすすめします。

お願い

■雷が鳴り出したら、早めに運転を止め、ブレーカーを「切」にしてください。電気部品が損傷することがあります。

３）　知っておいていただきたいこと

運転について

■右の温度環境下以外で運転すると、保護装置がはたらき運転ができない場合があります。

冷房運転	外気温度　約２１～４３℃
除湿運転	外気温度　約２１～４３℃
暖房運転	外気温度　約２４℃以下

■室内側の湿度が８０％以上で長時間冷房・除湿運転すると、室内吹出口などに露が付き、滴下する場合があります。

■停電で CCF STYLE の運転が停止すると、停電が回復しても CCF STYLE は停止したままです。リモコンの運転/停止ボタンを押して、再度運転してください。

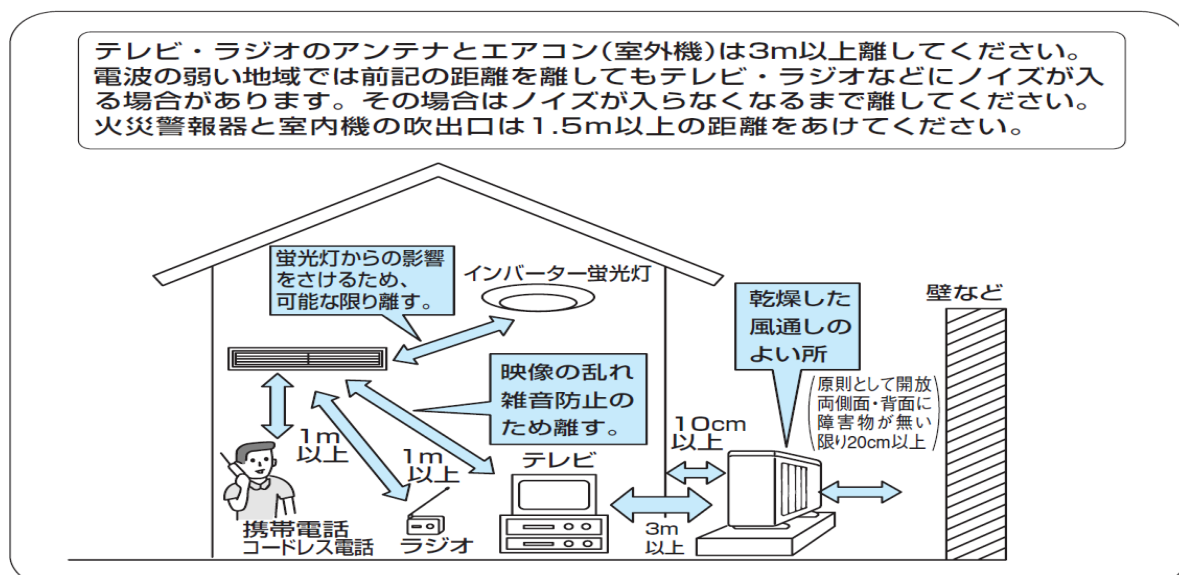
４）　設置・点検・移設

「安全のために必ず守ること」をご確認ください。

据付け場所について

以下の場所への据付けはさけてください。

■可燃性ガスの漏れるおそれのある所
■機械油が多い所
■温泉地など硫化ガスが発生する所
■積雪により室外機がふさがれる所
■高周波機器、無線機器などがある所
■海浜地区など塩分が多い所
■油の飛まつや油煙のたちこめる所
■クレーン車、船舶など移動するものへの設置

※室内機からの排水は水はけのよい所にしてください。
※風通しが悪くショートサイクルが起きやすい所では、冷暖房能力および消費電力が１０％程度悪化する場合があります。その場合吹出ダクト(別売部品)をお使いになると、冷暖房能力および消費電力の改善が図れます。

電気工事についての注意

■２００Ｖ電源は必ずCCF STYLE専用回路にしてください。

■ブレーカー容量は必ず守ってください。

■CCF STYLEは２００Ｖ用機種ですのでＡＣ２００Ｖで使用してください。

■制御盤には２００Ｖの他１００Ｖ電源も必要です。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては CCF 室内機の重量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外機の吹出口からの温風や、運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外機の吹出口近くには物を置かないでください。機能低下や運転音増大のもとになります。

■使用中、異常音がする場合は、「本システムを施工した CCF STYLE 登録店」または株式会社駒匠アフターサポート係までご相談ください。

移設はCCF STYLE登録店へ依頼

■増改築・引越しのため CCF STYLE を取外したり、再据付けする場合は、専門の技術や工事が必要になります。

点検整備のおすすめ

■CCF STYLEを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下することがあります。
また、ゴミやほこりなどにより、においが発生したり、ドレンパイプなどの排水経路のつまりによりCCF室内機から水漏れすることがあります。
通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
点検整備および費用は「本システムを施工した CCF STYLE 登録店」または株式会社駒匠アフターサポート係までご相談ください。

CCF室内機の内部洗浄について

■市販のエアコン洗浄剤を使用すると、ドレンパイプなどの排水経路のつまりによる水漏れや電気品などの故障の原因になります。
また、ケガや感電などの危険がありますので CCF 室内機の内部洗浄をご希望されるかたは、「本システムを施工した CCF STYLE 登録店」または株式会社駒匠アフターサポート係までお申し付けください。

警告

■CCF STYLE が冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、本システムを施工した CCF STYLE 登録店にご相談ください。
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容を CCF STYLE 登録店に確認してください。
■ CCF STYLE で使用されている冷媒そのものは安全です。
冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物を発生する原因となります。

CCF STYLE 登録店へ確認する

注意

■新築物件やリフォームなどの内装工事、床面ワックスがけ時には CCF STYLE の運転をさけてください。CCF STYLE を運転する場合は十分な換気の後から行ってください。ワックスなどの揮発成分が CCF 室内機内部に付着し水漏れや露飛びの原因になることがあります。

5） 長期間ご使用にならないとき

●長期間使用しないとき

①約２４時間、送風運転して CCF 室内機内部および床下空間を乾燥させてください。

②ブレーカーを「切」にしてください。

●再度使い始めるとき

①フィルターを掃除し、取付けてから「運転前の準備」の要領で準備してください。

②室内外機の吹出口・吸込口ならびに床吹出口をふさいでないことを確認してください。

③アース線が外れていないことを確認してください（室内機側に取付けてある場合があります）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍に行っています。【製造年】本体の銘板の中に西暦４桁で表示してあります。製造年は取扱説明書にも記載しています。

※【設計上の標準使用期間】１０年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経験劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　ＪＩＳ　Ｃ　９９２１－３による

環境条件	電源電圧/周波数	製品の定格電圧による／５０Ｈｚ・６０Ｈｚ共通
	室内温度	冷房２７℃（乾球温度）　暖房２０℃（乾球温度）
	室内湿度	冷房４７％（湿球温度１９℃）　暖房５９％（湿球温度１５℃）
	室外温度	冷房３５℃（乾球温度）　暖房７℃（乾球温度）
	室外湿度	冷房４０％（湿球温度２４℃）　暖房８７％（湿球温度６℃）
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	１年あたりの使用日数	東京モデル 冷房　６月２日から９月２１日までの１１２日間 暖房　１０月２８日から４月１４日までの１６９日間
	１日あたりの使用時間	冷房　９時間/日　暖房　７時間/日
	１年間の使用時間	冷房　１００８時間/年　暖房　１１８３時間/年

○設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または本来の使用目的以外でご使用された場合は設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

フロンの「見える化」表示について

家庭用エアコンには最大でＣＯ$_2$（温暖化ガス）３，６００ｋｇ（CCF STYLEの場合は１０，５００ｋｇ）に相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄などにあたってはフロン類の回収が必要です。

この表示は、家庭用エアコンおよび CCF STYLE に温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。エアコンおよび CCF STYLE の取り外し時はフロン類の回収が必要です。

７．　仕様／付属品

冷房・暖房・床暖房兼用CCF STYLE(インバーター)

仕様＼形名			ＣＣ－ＦＭＴＺ４５２ＡＳ
電源（室外機）			単相２００Ｖ
電源（制御盤）			単相１００Ｖ
冷房能力〈ｋＷ〉			８．０
暖房能力〈ｋＷ〉			９．０
消費電力〈Ｗ〉			冷房２０４０　暖房２０３０
運転電流〈Ａ〉			冷房８．３８　暖房１０．２５
室内側運転音（強）〈ｄＢ〉			冷房５１　暖房５７
室内機２台運転時	冷房面積のめやす〈m^2〉	Ｑ値＝２．７	８０
		Ｑ値＝２．０	１００
	暖房面積のめやす〈m^2〉	Ｑ値＝２．７	１００
		Ｑ値＝２．０	１２０
エネルギー消費効率	冷房		３．９２
	暖房		４．４３
通年エネルギー消費効率			５．４
質量〈ｋｇ〉			室内機２３．５　室外機６７
外形寸法〈ｍｍ〉			室内機　高さ３８０×幅７６３(＋５８．５)×奥行３５０ 室外機　高さ９００×幅９００×奥行３２０
付属品			ＭＡリモコン・インターフェース 暖房快適スイッチ・赤外線リモコン

・運転音は反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると周囲の音や反響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。

・CCF STYLE マルチシステムとしてエアコンと接続したときの仕様値、室外機の仕様については室外機に同梱している仕様表を参照してください。

８．　保証とアフターサービス

■保証書

・保証書は、必ず「お引き渡し日・CCF STYLE 登録店名」などの記入をお確かめのうえ、CCF STYLE 登録店からお受け取りください。

・保証内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間

お引き渡し日から１年間です

（冷媒回路については５年間）

■補修用性能部品の保有期間

・CCF STYLE の補修用性能部品を製造打切り後１０年間保有しています。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です）

■ご不明な点や修理に関するご相談は

・「本システムを施工した CCF STYLE 登録店」または株式会社駒匠アフターサポート係までご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●「故障かな？と思ったら」「もう一度お確かめください」「CCF STYLE マルチシステムとは」にしたがってお調べください。

なお、不具合があるときは、運転を停止し、ブレーカを切ってから「本システムを施工した CCF STYLE 登録店」または株式会社駒匠アフターサポート係までご連絡ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証書の規定にしたがって CCF STYLE 登録店または株式会社駒匠が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

点検・診断のみでも有料となることがあります。

●修理料金は

技術料＋部品代(＋出張料)などで構成されています。

・技術料…故障診断、故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる料金です。

・部品代…修理した部品代金です。

・出張料…CCF STYLE のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みのハウジングエアコン(CCF STYLE 室内機を含む)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を CCF STYLE 登録店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ご相談窓口のご案内

①取扱い･修理のご相談は、まずは下記の CCF STYLE 登録店へ

CCF STYLE 登録店

登録店名

住所

電話番号

担当者名

②総合ご相談窓口

一般社団法人 温熱環境研究所・温風床暖房研究所

株式会社駒匠

〒105-0004　東京都港区新橋 4-21-3

TEL 03-6895-7398

FAX 03-6895-7354

保証書

<table>
<tr><td>品名</td><td colspan="2">CCF STYLE マルチシステム</td><td>管理番号</td><td></td></tr>
<tr><td>お客様</td><td colspan="4">お名前

ご住所

電話番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">※お引き渡し日</td><td colspan="3" rowspan="6">※CCF STYLE 登録店名・住所・電話番号

㊞</td></tr>
<tr><td colspan="2">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間(お引き渡し日より)</td></tr>
<tr><td>１年間</td><td>本体</td></tr>
<tr><td>５年間</td><td>冷媒回路(詳しくは下記をご覧ください)</td></tr>
</table>

●本書の※印欄に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちに CCF STYLE 登録店または株式会社駒匠にお申出ください。
●本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
●本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.
本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、お引き渡し日から上記の期間中に故障した場合には、本システムを施工した CCF STYLE 登録店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
〈無料修理規定〉
１．保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、本システムを施工した CCF STYLE 登録店にご依頼のうえ、出張修理に際し本書をご提示ください。
なお、離島及び離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
２．ご転居の場合には事前に本システムを施工した CCF STYLE 登録店にご相談ください。
３．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お引き渡し後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
（ホ）本書のご提示がない場合。
（ヘ）本書にお引き渡し日、お客様名、CCF STYLE 登録店名ならびに管理番号の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合。
４．冷媒回路とは圧縮機、冷却器、凝縮器、本体付属配管等を示します。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、CCF STYLE 登録店または株式会社駒匠へお問合せください。
●保障期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間につきましては、取扱説明書をご覧ください。

CCF STYLE

一般社団法人 温熱環境研究所・温風床暖房研究所・株式会社駒匠
〒105-0004　東京都港区新橋４－21－３
TEL 03-6895-7398　FAX 03-6895-7354

<table>
<tr><td>愛情点検</td><td>●長年ご使用の CCF STYLE の点検を！</td><td>●CCF STYLE の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後１０年です。</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">
<table>
<tr><td>こんな症状はありませか</td><td>・焦げ臭い臭いがする。
・ブレーカーが頻繁に落ちる。
・架台や吊り下げ等の取付部品が腐食していたり、取り付けがゆるんでいる。
・室内機から水が漏れる。
・運転音が異常に大きい。
・その他の異常や故障がある。</td><td></td><td>ご使用中止</td><td>故障や事故防止のため、スイッチを切り、ブレーカーを切って必ず CCF STYLE 登録店に点検・修理をご相談ください。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

CCF STYLE

www.ccfstyle.com

一般社団法人 温熱環境研究所・温風床暖房研究所

株式会社駒匠

〒105-0004　東京都港区新橋４－21－３

TEL 03-6895-7398　　FAX 03-6895-7354

1305